



タイトル Title	表5. 2政令市長選挙（堺・京都市）における漸進的無償化関連の公約一覧
著者 Author(s)	渡部, 昭男
掲載誌・巻号・ページ Citation	高等教育における経済的負担軽減及び修学支援に係る法・制度・行財政の日韓比較研究,:
刊行日 Issue date	2020-03
資源タイプ Resource Type	Research Paper / 研究報告書
版区分 Resource Version	author
権利 Rights	
DOI	
JaLDOI	
URL	http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81011978

表5. 2政令市長選挙（堺・京都市）における漸進的無償化関連の公約一覧

(2020.3.7作成)

市	候補者氏名 * 届出順 (所属等)	漸進的教育無償化・子育て・若者等に係る公約・マニフェスト等からの抜粋 * 漸進的教育無償化に直接触れた事項を 色文字&下線処理 (出典：ウェブにアップされた各候補者の「公約」等／それがない場合は選挙管理委員会「選挙公報」で補足／2020.3.7閲覧)
堺市@2019年6月9日投票	野村 友昭 (無新)	<p>【堺・教育学カルネッサンス（教育）】</p> <p>「堺100年の計」として最重点投資し、全体の底上げによって政令市トップの学力を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政令市No.1の教育予算の確保（財政に占める割合） 財政全体に占める教育予算の割合は、堺市が15.4%で政令市中位。仙台が17.3%でトップ。まずは教育予算2割アップで、政令市No.1の教育予算を確保し、「教育のまち堺」の姿勢を内外に示します。教育は未来への投資です。 ・小中学校の体育館（災害時の避難所）へのエアコン設置 温暖化で夏の猛暑が厳しくなっています。普通教室のエアコン設置が完了し、次は特別教室や体育館へ。特に体育館は、運動中の熱中症の恐れがあるだけでなく、災害時の避難所でもあり、早急な対応が必要です。 ・ホンマに美味しい給食計画（中学校給食の完全実施&無償化） 選択制ではない、完全実施の中学校給食を導入します。それも美味しく、安全な給食を。さらには、大阪府内では例のない、中学校給食の無償化を進めます。すべての子どもに栄養と、食育を。 ・政令市ナンバーワンの多機能・未来型中央図書館に 老朽化し、バリアフリーすらできていない中央図書館。カフェや自習スペース、市民活動スペースや、起業相談等の機能に加え、今の2倍の図書購入予算を確保し、未来型の図書館へとリニューアル。文化都市堺のシンボルにします。 ・教員と専門職の教育サポートスタッフの増員 教員をはじめ、スクールソーシャルワーカーやカウンセラー、図書館司書などの専門職を増員する他、通級指導教室を増やします。一人ひとりの子どもに寄り添える教育環境を作り、学力の底上げを図ります。 <p>・大学生等への奨学金返還支援制度の創設 <u>せっかく奨学金で大学に行っても、その返済に困窮する若者が増えています。堺で学び、堺で働く若者をサポートするためにも、奨学金の利息負担の援助など、返済を支援する制度を創設し、高等教育の経済的負担を軽減します。</u></p> <p>【子どもの笑顔満開プラン（子育て）】</p> <p>子育て支援の原点に立ち返り、大人ではなく、子どものための施策を優先的に拡充します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路、散歩コースの安全総点検&危険箇所通報アプリ 子どもが巻き込まれる交通事故が相次いでいます。通学路、保育園等の散歩コースを総点検し、ガードレール等の設置を進めます。市民が危険個所に気づけば、すぐに写真を撮って市に通報できるアプリを導入します。 ・保育士の処遇改善&待機児童ゼロで、保育力アップ! 保育士不足が、待機児童問題の大きな原因のひとつ。保育士の処遇改善を自治体独自でも進めると共に、国の積極的な取り組みを促します。保育の質を維持・向上させながら、量の問題（待機児問題）を改善していきます。 ・子育て家庭支援・相談・見守り強化で、児童虐待防止 児童虐待が後を絶ちません。堺が先進的に取り組んできた、保健師による乳幼児の全戸訪問事業を拡充し、子育て家庭が困難に陥る前に相談・支援ができ、また課題を抱えた家庭を見守りできる体制を作り、虐待をなくしていきます。 <p>・小中学校入学準備の保護者負担をゼロに <u>就学援助の対象を拡充すると共に、所得制限を拡充方向で見直します。入学時にかかるお金を段階的に減らし、将来的には、保護者負担ゼロを目指します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベビーカーで10分以内に、しっかり遊べる街路公園を 子育てで「近所の公園」、それも「しっかり遊べる公園」はなくてはならないものです。公園がほとんどない校区もあります。「ベビーカーで10分以内」を目標に、公園を整備します。もちろん、高齢者にとっても憩いの場に。 ・学童保育の利用料低減、長期休暇中も利用しやすく 保育所の保育料の低減がずいぶん進みました。学童保育についても、利用料の低減を図ります。また、夏休みなどの長期休暇中だけの利用希望に応えられるよう、教室・指導員の確保に努め、柔軟な受け入れを実施します。 <p>(出典：「野村ともあきマニフェスト『未来前進プロジェクト』」 https://teamsakai.com/images/mirai_project1.pdf)</p>

<p>永藤 英機 (維新・新)</p>	<p>1. 実感できる子育て・教育のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校全員給食の実施 全ての生徒にバランスの取れた食事を提供するために、中学校給食の全員実施を行います。 ・保育所の待機児童ゼロ 区役所など行政施設の活用や規制緩和によって、保育所の待機児童解消を実現します。 ・全国トップを目指す英語教育やIT教育 グローバル社会で活躍できる人材の育成に向けて、オンライン英会話など効果的なサービスを活用することで「使える英語」を習得するとともに、情報社会に適応できるICT教育を実現します。 ・大阪府立大学（新大学）の機能拡充 中百舌鳥キャンパスは存続するだけでなく府立大学の強みである理系分野を強化し、堺から世界へ発信できる知の拠点を実現できるように大学法人、大阪府、大阪市に呼びかけます。 (出典：「大阪維新の会2019政策パンフレット 堺市長選挙ver」 https://oneosaka.jp/sakai_election2019/common/img/pdf/sakai_manifesto.pdf)
<p>立花 孝志 (N国・新)</p>	<p>子育て世代の応援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン購入時の助成金（半額支給） ・電動アシスト自転車購入時の助成金（半額支給） <p>(出典：「公約」https://www.youtube.com/watch?v=wi1BNSPdfLw)</p>
<p>村山 祥栄 (無新)</p>	<p>未来を創造～こどもの命と成長に力を～ こどもが等しく幸せに成長できる社会に向けて、児童虐待ゼロ、子供の貧困撲滅、子育て支援の充実を徹底していきます。 (出典：「村山祥栄 基本方針 5つの約束」https://村山しょうえい.com/) ～～～</p> <p>徹底した子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育所の全行政区設置 ・子ども医療費中学3年生まで無料 ・児童虐待ゼロ、児童福祉司の大幅増員 ・全員制中学校給食の導入 <p>(出典：京都市選挙管理委員会「京都市長選挙広報」 https://www.city.kyoto.lg.jp/senkyo/cmsfiles/contents/0000263/263421/kouhou.pdf)</p>

1 人生100年時代の「安心」を創る

子育て家庭、子ども・若者の孤立ゼロ「子育て・教育環境日本一」、世界があこがれる「大学のまち・学生のまち京都」をさらに推進します。

● 保育所の新增築など、11年間で利用児童数5,600人拡大、国基準を上回る保育士の配置などにより、保育所待機児童ゼロを6年連続達成、学童クラブも8年連続待機児童ゼロを達成

● 子ども医療費助成を拡充、3歳以上の通院自己負担額を3,000円/月から1,500円/月に引き下げ

● 子ども若者はぐくみ局の創設、各区に子育て支援コンシェルジュ機能を有した「子どもはぐくみ室」の設置

● スクールソーシャルワーカーを全中学校区に配置

・子育ての孤立ゼロへ！ オール京都ではぐくみ文化を創造・発信 子どもを産み・育てる楽しさ・素晴らしさを感じられ、社会全体で子どもを大切に育む環境づくりを進めます。

・ 子ども医療費助成のさらなる拡充、新生児聴覚検査助成制度の創設など、子育て家庭の経済的負担を軽減します。

・ 「保育所待機児童ゼロ」継続！ 多様な保育サービスの充実、担い手の確保など、保育の質と量を充実します。

・ 「学童クラブ待機児童ゼロ」継続！ 全小学校区での学童クラブ機能確保に取り組みます。

・ 医療的ケアが必要な児童の受入支援を充実します。

・ 児童虐待ゼロへ挑戦！ 対策の強化と、虐待を受けた子どもの社会的養育、施設等退所後の支援を充実します。

・ 子どもの居場所づくりなど、貧困家庭の子ども等への支援を拡充します。

・ 妊娠前から出産、子育てまで切れ目なく支援します。

・ 地域や保護者と共に、全国に誇る京都ならではの開かれた学校づくりと、教育環境整備を一層進めます。

・ 生徒や保護者に喜んでいただける中学校給食をさらに充実します。

・ すべての子どもの学習習慣の定着と学習保障・支援を拡充します。

・ いじめ・不登校ゼロへ！ ICTやSNSなども活用し、いじめや不登校などの生徒・児童へきめ細かく支援します。

・ 子どもたちに、京都ならではの伝統文化、すまいやくらしの文化など「ほんもの」の京都の魅力を学ぶ機会を拡充します。

・ 家庭でのしつけや学校での道徳教育の充実等で、いじめを許さないなど子どもの思いやりの心を育みます。

・ 「大学のまち・京都」で学ぶ魅力の向上と、京都企業への就職支援を進めます。

・ 新たな留学生交流・育成の拠点を整備するなど、留学生の京都での就職・定住を推進します。

・ 多文化共生を尊重する教育環境整備を支援します。

・ 奥深い京都の魅力を研究する「京都学」の発展支援と、「京都版リカレント教育」を充実します。

・ 青少年の多様なライフデザインの形成や社会的自立を支援します。

・ 子どもから高齢者までの生涯学習環境を充実します

(出典：「かどかわ大作 次の京都へ、挑戦と改革。市民のみなさまとの141のお約束～確かな実行力！『くらしに安心、まちに活力、みらいに責任』～」 <http://kyoto-daisakusen.jp/policy/manifest.pdf>)

門川 大作
(無現)

<p>1 夢をつなぐ～市民のくらし丸ごと応援</p>	<p>だいじょうぶ！子育て</p>
<p>○子育て支援全般</p>	
<p>(1) 子どもの主体的権利を認め、子どもが安心して生きる権利や意見表明権などを明記した「子ども権利条例」を制定する。</p>	
<p><u>(2) 中学卒業まで子どもの医療費を無料にする（歯科治療を含む）。子どもの国保料の均等割を免除する。</u></p>	
<p>(3) 市長を先頭に「子育て日本一をめざすチーム」（仮称）を発足、子どもの貧困実態調査や子育てニーズの調査などをおこない、総合的な対策に取り組む。</p>	
<p>(4) 児童虐待への対策、障がいある子どもたちへの施策を強化する。児童福祉センターの児童福祉司の配置の拡充など体制の強化をはかる。</p>	
<p>(5) 児童福祉センターの識別診断の待機を解消するために、医師や職員の体制を強化する。</p>	
<p>(6) 養育費立替払い制度の創設をめざす。</p>	
<p>(7) 妊婦、産婦、褥婦に対する福祉医療制度の新設をおこなう。</p>	
<p>○保育・学童保育対策</p>	
<p>(8) 保育園の待機児童（2019年10月1日現在1259人もの潜在的待機児童）をなくすため、認可保育所の整備・増設をはかる。小規模保育にも必要な支援をおこなう。保育の質を担保するためにも、保育士の配置基準を引き上げるよう国に求めながら、さしあたり市の独自基準を引き上げる。保育士の増員めざし処遇の抜本的改善をはかる。</p>	
<p><u>(9) 保育無償化の対象外の副食費を国に無償化するよう求めるとともに、当面市が費用を負担する。</u></p>	
<p><u>(10) ひとり親家庭の0～2歳児の保育料を一人目の子どもから無償にすることをはじめ、保育の完全無償化をめざす。</u></p>	
<p>(11) 公立保育所の民間移管方針をみなおす。</p>	
<p>(12) 学童保育のすし詰め状態の解消のために、学童保育所・児童館の増設と学童保育・児童館職員の処遇改善をはかる。</p>	
<p>○のびのび教育</p>	
<p><u>(13) 小学校のような全員制の温かい中学校給食を段階的に実施する。給食費の計画的無償化をめざす。</u></p>	
<p>(14) どの子どものびのびと成長できる教育環境をつくるために、教員を増やし、小学校3年生以降も順次35人学級を実施する。</p>	
<p>(15) 子どもたちがゆとりをもって成長できる環境を整備するために、子どもや父母、現場の意見を踏まえて、小中学校の長期休業の期間、宿題の量、時間割などについて、教育の自主性・独立性を尊重しながら検討する。</p>	
<p>(16) 多様な教育の場を保障できるよう支援する。</p>	
<p>(17) 不登校児童と保護者への継続的な支援をおこなう。</p>	
<p>(18) 公立学校教員に対する変形労働時間制は導入しない。</p>	
<p>(19) 学校の統廃合計画は、いったん凍結し、検証する。</p>	
<p>(20) 学校運営予算を増額する。トイレの洋式化をすすめ、エアコンの稼働を保障する。体育館にもエアコン設置を検討し、早急に計画を確立する。通学路の安全確保や老朽校舎の改修改築を計画的にすすめる。</p>	
<p><u>(21) 朝鮮学校などに対する学費及び幼保無償化の除外は見直しを国に求め、それが実現するまでの間は市独自の無償化に向けて検討をすすめる。学校運営費への補助金減額をみなおす。</u></p>	

福山 和人
(無新)

○若者をがっちり応援

(22) 高等学校の学費は、資力要件のない段階的無償化をめざす。

(23) 大学入試「改革」の中止を国に求める。

(24) 国に対し、高等教育の無償化や私立大学への助成増額を求めるとともに、京都市として市立芸大の学費の無償化をめざす。

(25) 京都市独自の給付制奨学金を創設する。貸与制を前提に、市内企業に一定期間勤務した方について、返済免除・軽減の制度を検討する。貸与制の奨学金受給者に対する機関保証料の支援をおこなう。奨学金返済を支援する制度を創設する（利息分の支援など）。

(26) 地下鉄の学生定期割引率アップで負担軽減をはかる。市バスの学生定期割引率アップを検討する。

(27) 空き家対策と学生・若者・子育て世帯への住宅支援・家賃補助をセットですすめる。

(28) ニート、ひきこもり、不登校など社会生活を営む上で困難を有する青少年及び家族の実態調査、相談、支援の体制を抜本的につよめる。

(29) 青少年活動センターの全行政区への設置をめざす。

(30) 就職適齢者の住所氏名の宛名シールならびに紙媒体・電子データの自衛隊への提供は、個人情報保護の観点から中止する。

(出典：「京都市長選挙にあたってのマニフェスト（確定版）」

<http://www.fukuyamakazuhito.jp/wp/wp-content/uploads/2020/01/463d94a5cf1e1492a4d5bdc6fb4fc78f.pdf>

~~~~

【くらし応援すぐやるパッケージ】

(1) あったか子育て応援セット（年間52.5億円）

①中学校給食（自校方式+親子方式） 169億円 6カ年計画：毎年28億円

②子どもの医療費中学校卒業まで無料 15.5億円（府が半分だせば8億円）

③国保料の子ども均等割りを18歳まで免除 9億円

(2) ちょっとうれしい若者セット（年間6億円）

①給付制奨学金創設 1.5億円

②奨学金返済補助制度創設（利息分の支援） 7400万円

③地下鉄定期割引率アップ（48→60%） 3.84億円

(出典：「くらし応援すぐやるパッケージ」

<http://www.fukuyamakazuhito.jp/wp/wp->